

# オオアブノメ

*Gratiola japonica* Miq.  
オオバコ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

本県では2013年に初めて確認された。生育地は極めて少ないと考えられる。

## 分 布

本州（宮城県以南）、九州に分布し、県内では福井市で確認されている。

## 種の特徴

湿地に生える一年草。茎は高さ10～20cmで直立する。葉は対生し、やや厚く、長さ1～3cm、幅2.5～7mm、披針状長楕円形、全縁。花期は5～6月。葉腋に1花をつける。花冠は白色だが、多くは閉鎖花。蒴果は球形、長さ3～4mm。

## 生育を脅かす要因

産地局限、遷移進行。

## 参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
																		○

# エゾオオバコ

*Plantago camtschatica* Cham. ex Link  
オオバコ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では生育地、個体数ともに少ない。

## 分 布

北海道～本州、九州の主に日本海側に分布し、県内ではあわら市、坂井市、美浜町で記録がある。

## 種の特徴

海岸の砂地に生える多年草。葉は太い根茎に束生し、長楕円形で先はややとがる。オオバコに似るが全体に軟毛が多い。花期は5～8月、高さ15～30cmの花茎を伸ばし、白色の花を穂状花序に密につける。

## 生育を脅かす要因

産地局限、海岸開発。

## 参考文献

福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○							○		○				

# エゾヒナノウスツボ

*Scrophularia alata* A.Gray  
ゴマノハグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

本県を分布の南限とし、生育地、個体数とも限定される。

## 分 布

北海道～本州に分布する。県内では福井市で生育が確認される。

## 種の特徴

海岸の岩礫地に生える多年生草本。茎は太く柔らかく、高さ約1.5mになる。葉は対生し、翼のある長い柄があり、広卵形、縁には鈍い鋸歯がある。花期は6～7月。茎の先に円錐形花序をつけ、まばらに多くの花を開く。花冠は淡黄緑色。

## 生育を脅かす要因

海岸開発。

## 参考文献

佐竹義輔ほか（1981）、若杉孝生（1971）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
																		○